

授業概要

上流階級の白人の男性たちの対極におかれ、迫害されてきた黒人、女性、労働者について考えてゆく。エドガー・アラン・ポーを中心に、英語圏における性差・人種観などを検証する。毎回歴史的名作と評価される英語圏のゴシック小説を「読み」分析し、時に映画化された作品などとも比較して講義してゆく。

授業計画

第 1 回	イントロダクションー文学とは何か
第 2 回	文学批評理論ー新批評からデコンストラクションまで
第 3 回	文学批評理論ー新歴史主義からポスト・コロニアリズムまで
第 4 回	文学批評理論ーカルチュラル・スタディーズとアダプテーション理論
第 5 回	ポーにおける女たち(1)ー「黒猫」を読む
第 6 回	ポーにおける女たち(2)ー「アッシャー家の崩壊」を読む
第 7 回	ポーにおける脅威の猿ー「モルグ街の殺人」から『キングコング』へ
第 8 回	ポーにおける身体障害者ー「ホップ・フロッグ」「使い切った男」
第 9 回	南北戦争前の文学とホモソーシャルーナサニエル・ホーソーン『緋文字』を読む
第 10 回	アメリカ文学におけるクイアーーフィッツジェラルド『グレードギャッピー』の映画比較
第 11 回	H・P・ラヴクラフト論(1)ークトゥルフ神話における他者
第 12 回	H・P・ラヴクラフト論(2)ー優生学と人種差別
第 13 回	文学における進化論ー自然主義文学 ジャック・ロンドンとフランク・ノリス
第 14 回	文学における人造人間ー『フランケンシュタイン』から『ブレードランナー』へ
第 15 回	読書終焉の世界ーレイ・ブラッドベリ『華氏 416 度』
第 16 回	定期試験

到達目標

英語圏文学における他者を考察することで、これらの作品が書かれた時代の特徴、地域社会や文化を読み解いてゆく。文学を歴史の反映として学習し、異文化理解や、中学校及び高等学校における外国語科の授業のため教養の土台とする。

履修上の注意

マナーを尊重して楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。大量の資料を配布するのでファイルを持参のこと。時に暴力的な映像を見ることがあるので、苦手な人は注意してほしい。できるだけ普段から関心をもって本を読むように心がけてもらいたい。

予習・復習

配布した資料は事前に予習として必ず読み、授業後に再び読み直してほしい。

評価方法

学期末試験（50%）、提出物（レポート）およびコメントペーパー（40%）などの総合評価。

テキスト

主にプリントなどの配布資料 また参考文献については適宜指定する。